

滋賀県精神保健福祉協会だより

滋賀県精神保健福祉協会 第二十二回総会講演会

「アルコール健康障害対策基本法について」

～滋賀県におけるアルコール健康障害対策の取組～

●講師 滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課 精神保健福祉係 主幹 平井昭代氏

平成二十九年六月十五日、滋賀県精神保健福祉協会第二十二回総会の後に滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課 精神保健福祉係 主幹 平井昭代氏より「アルコール健康障害対策基本法について」～滋賀県におけるアルコール健康障害対策の取組～について特別講演が行われました。

以下は講演内容の要約です。

滋賀県におけるアルコール健康障害対策の取り組みについてお話をさせていただきます。

まず滋賀県の基本情報です。滋賀県は人口約二四二万人、圏域は七圏域ありまして、市町数は十九市町です。精神科病院数は十二病院、精神科病床数は平成十八年六月現在で二、一八四床です。滋賀県精神科診療所協会に加入されている診療所が二十二診療所です。アルコール専門外来を標榜されているところが二病院となっております。

滋賀県のアルコール依存症の現状ですが、何人の方がアルコール依存症でいるかについては正確に把握ができていませ

んが、全国推計で平成二十五年に推計が出されており、全国的には二〇九万人、滋賀県で二、九〇〇人の方がアルコール依存症で苦しんでいると推計されています。このとき実際に医療に掛かっておられる方が何人おられたかというところ、五十一人の方が入院されていて二八三人の方が通院されていたというところで、医療につながる方が如何に少ないかという現状がわかるかと思えます。

アルコール健康障害対策の国の動きとして、平成二十六年



滋賀県精神保健福祉協会 第21回総会講演会

六月にアルコール健康障害対策基本法が施行されました。アルコール健康障害関係者会議が何度も開催され、その中で検討されて、平成二十八年五月にアルコール健康障害対策推進基本計画が国の計画として策定されました。この中で、各都道府県においては平成三十二年までに計画策定の努力義務が規定されております。また、都道府県計画の策定に際しては、関係者会議を開催し課題把握をし、その上で解決に向けた目標を設定し施策を明示することが重要であると示されております。アルコール健康障害対策基本法の基本認識は、『酒類が国民の生活に豊かさや潤いを与えるものであるとともに、酒類に関する伝統と文化が国民の生活に深く浸透している一方で、不適切な飲酒はアルコール健康障害の原因となり、アルコール健康障害は、本人の健康の問題であるのみならず、その家族への深刻な影響や重大な社会問題を生じさせる危険性が高い』ということが明示されております。アルコール健康障害の定義で、アルコール依存症に限らず、アルコール依存症その他の多量の飲酒、未成年の飲酒、妊婦の飲酒等の不適切な飲酒の影響による心身の健康障害と定義されています。この法律の基本理念ですが、アルコール健康障害の発生の予防、進行の予防、再発の予防ということで、各段階に応じた防止対策を適切に実施するということと、アルコール依存症になられた方の日常生活支援や社会生活を円滑に営むことができるように支援するということが大きく明示され、もう一つは、飲酒運転、暴力、虐待、自殺等の問題に関連するということとで、その施策との有機的な連携を図るようにということが基本理念として書かれています。

滋賀県推進計画への取り組みは平成二十七年度にアルコール健康障害対策推進連絡会議を立ち上げ県内の現状共有とこれからどういう施策が必要なのかということ、県医師会、精神科病院、教育委員会、警察本部、健康医療福祉部の中のあらゆる局や課が集まって、基本的施策の①教育の振興②不適切な飲酒の誘因防止③健康診断及び保健指導④アルコール健康障害に係る治療体制の整備⑤相談支援体制の整備⑥飲酒運転に関する指導等⑦社会復帰の支援⑧民間団体活動支援⑨人材の確保⑩調査研究の推進についてどのようなことが問題、課題になっているかの現状把握を行いました。平成二十八年度には新たに滋賀県

断酒同友会、滋賀県酒造組合、滋賀県小売酒販組合連合会、有識者の方に参画いただき二回の会議を開催しております。実際に計画に盛り込むべき現状と課題について意見交換を行いました。主な意見としまして、①医療機関との連携②地域生活支援体制の充実、地域の相談支援人材育成③拠点医療機関の設置ということ、現在も専門医療機関として診療されていきます県立精神医療センターを治療拠点機関として、他の民間精神科医療機関も専門医療機関として連携していけるような体制づくり等の意見で、別途で計画策定に向けた実態把握として、アルコール健康障害にかかる医療機関の状況調査を実施しました。アルコール

健康障害のある本人または家族の受診の有無について調査したのですが、精神科病院の約九割、精神科診療所の約七割でアルコール健康障害のある方が来られているという結果がわかりました。内科病院では約五割、内科診療所では約三割ということ、どこでもアルコール健康障害のある方の対応をさせていただいているということが分かりました。

（仮称）滋賀県アルコール健康障害対策推進計画ということで、アルコール健康障害対策推進会議で策定の検討を進めているところです。計画は平成三十年度からということと考えておりまして、平成二十九年

紹介させてもらいましたように、発生予防、進行予防、再発予防の各段階での防止対策を講じるということ、当事者・家族の相談、回復支援を盛り込むということ、自殺、飲酒運転、虐待、暴力などの有機的な施策との連携をはかるということを基本理念としていきます。今後の予定ですけれども、平成二十九年度の第二回は六月六日にこの計画策定に向けた推進会議を開催いたしました、第二回を秋頃に開催して最終検討に入りたいと思っております。その後、パブリックコメントで、意見の聴取を行い、県議会への報告等を通して平成二十九年

度中の策定を予定しています、と結ばれました。

滋賀県断酒同友会 西浦 正

第21回 総会報告

平成29年6月15日(木)午後4時から、滋賀県立精神保健福祉センター研修室において、第21回総会が開催されました。山田会長の挨拶に続き、議長に曾根博氏(滋賀県精神障害者家族会連合会)が選出されました。議事として、理事会報告、平成28年度事業報告・決算報告、平成29年度事業計画・予算について、続いて平成29年度の活動方針(案)について討議が行われ、すべて原案どおり承認されました。

平成29年度事業計画(年間開催予定)

1. 啓発・普及

○精神保健福祉啓発事業

- ・「平成29年度全国精神保健福祉連絡協議会 理事会・総会」の開催 1回
日時：平成29年10月19日(木) 13:30~17:00
会場：滋賀県大津合同庁舎7階7D会議室
- ・「第65回精神保健福祉全国大会」の開催(共催) 1回
日時：平成29年10月20日(金) 10:00~16:00
会場：びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール

○会報誌の発行、ホームページの運営・管理

- ・協会活動状況のお知らせ(会報誌の作成・配布) 1回
- ・協会活動状況のお知らせ(ホームページの更新) 随時
- ・社会資源等の情報提供(会報誌、ホームページ等を通じて) 随時

2. 研修・調査研究

○研修会の開催

- ・勉強会の開催(調査研究部会担当) 随時

3. 団体支援

○関係団体の支援、育成

- ・患者家族会、断酒会、ボランティア団体等の活動支援 随時



会員の皆様のご意見、情報、ご質問など、事務局(TEL/FAX 077-567-5250
Email: smental@ex.biwa.ne.jp)までお寄せください。(報告:事務局 福島)

滋賀県精神保健福祉協会

入会のご案内

県民、民間団体、医療、行政などが一体となり、精神保健福祉に関する知識を広く県民に普及啓発し、障害のある人もない人も共に暮らしよい社会づくり、「こころの豊かな社会」の実現を目指し活動しております。1人でも多くの方々とともに活動をつづけて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

皆さまのご入会をこころよりお待ちしております。くわしい内容については、下記へお尋ねください。

会費(年額)

○一般会員 この会の趣旨に賛同して入会した個人または団体

個人会員 1,000円 団体会員 10,000円

○賛助会員 この会の事業を賛助するため入会した個人または団体

個人会員 1,000円 団体会員 20,000円



■事務局 〒525-0072

滋賀県草津市笠山8丁目4-25 滋賀県立精神医療センター内
TEL/FAX 077-567-5250

「認知症」のこと、「歳のせい」にいませんか？

認知症は早期に治療することで症状を遅らせたり、改善したりすることができます。

近江温泉病院は、認知症の早期発見、鑑別診断を行う「認知症疾患医療センター」と

認知症に伴う様々な症状に対して、専門的な入院治療を行う「認知症病棟」を有しております。

認知症の診断と治療を通じて、患者さんをご家族の地域での暮らしを支えます。

ご家族の変化に気づいたら、お早めにご相談下さい。

医療法人 恒仁会 近江温泉病院 認知症疾患医療センター

滋賀県東近江市北坂町966

(病院代表)

TEL 0749-46-1125 FAX0749-46-0265

(疾患センター直通)

TEL&FAX 0749-46-0010

ホームページ <http://www.oumi-hp.or.jp>



辻メンタルクリニック

辻メンタルクリニックでは、「保健・福祉を統合した科学的な医療と文化に根ざした患者本位の社会復帰」を、治療の基本として考え、治療を行っています。

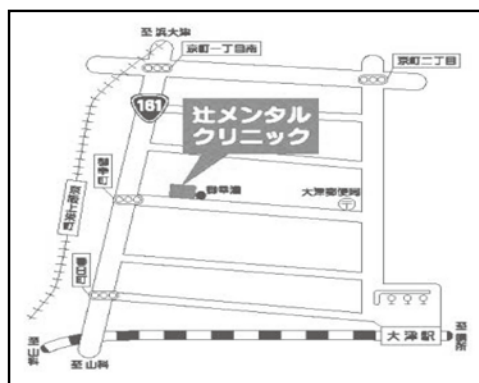
不眠症、うつ病、発達障害、パニック障害、不安障害、ストレス障害、職場のメンタルヘルス、女性のメンタルヘルス、思春期の精神症状、不登校、引きこもり、認知症等お気軽にご相談下さい。

診療は完全予約制となっております。まずは、お電話にてご予約ください。

JR 大津駅より徒歩 7 分、京阪電車上栄町駅より徒歩 5 分、駐車場 2 台。



院長 辻 元宏
(つじ もとひろ)



〒520-0057 大津市御幸町 2-2
電話 077-510-0567

当クリニックでは、医師が一方向的に治療を進めていくことはありません。

患者さんは「一人の人間」として、医師は患者さんの問題解決を援助するスタッフとして、患者さんが求める自己実現のための、説明や話し合いを重ねてまいります。

ご来院を心よりお待ちしております。

第65回
精神保健福祉全国大会

10/20^金

時間 10:00~16:00

場所 びわ湖大津プリンスホテル
コンベンションホール

内容 10:00 記念式典
11:00 アトラクション
・びわこダルク・東近江ダルク合同 和太鼓演奏「淡海響組」
・詩の朗読「みんなの詩」
朗読：川端まゆみ / 演奏：野村祐子

13:10 記念講演
●テーマ/「心の壁を破る」
～比叡山の修行を通して掴んだもの～
●講演者/ 比叡山延暦寺円龍院 宮本 祖豊 住職
(十二年龍山行修行)

14:20 シンポジウム
●テーマ/「湖国で語ろう」～新たな共生社会を目指して～
●座長/ 山田 尚登 (滋賀県精神保健福祉協会会長)
●シンポジスト/
西浦 正 (滋賀県断酒同友会会長)
尾畑 聡英 ((特非) 滋賀県精神障害者家族会連合会理事長)
岡本 律子 (脳外傷友の会「しが」代表)
山崎 秀樹 (社福) さわらび福祉会スポッパライフルばさ施設長)

16:00 閉会

主催 厚生労働省・(公社)日本精神保健福祉連盟
共催 滋賀県・大津市・(公社)日本精神科病院協会滋賀県支部
滋賀県精神保健福祉協会

お問合せ先
第65回精神保健福祉全国大会実行委員会 事務局
滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課 精神保健福祉係
TEL 077-528-3548 FAX 077-528-4853

伝 言 板

落語deメンタルヘルス
～ 笑いは心のクスリ! ~

日 時…平成29年9月30日(土) 午後2時開演 (午後1時30分開場)
場 所…ひこね市文化プラザ エコーホール
出 演…笑福亭たま、笑福亭生喬、笑福亭生寿
料 金…前売 2,500円 当日 3,000円
主 催…認定NPO法人サタデーピア
共 催…日本笑い学会 笑ってメンタルヘルス滋賀支部
問合せ…サタデーピア夢工房if TEL 0749-23-8896

こころの会 例会

日 時…平成29年10月8日(日) 13:00~15:00
場 所…滋賀県立男女共同参画センター研修室C (JR近江八幡駅南口 徒歩10分)
内 容…現在悩んでいること、薬のこと、病気のこと、等
申込み…こころの会 (滋賀県精神障害者患者会)
蒲生郡日野町木津192 (事務局代表 吉澤康雄)
TEL/FAX 0748-52-2918 (この会は患者会です)

平成29年度 滋賀県精神保健福祉協会 調査研究部会事業
「就労と結婚を語ろう!! 第2弾」

日 時…平成29年11月10日(金) 13:30~15:30 (受付13:00~)
場 所…地域生活支援センター ふらっと
JR近江八幡駅北口より徒歩30分
JR近江八幡駅北口より近江鉄道バス「長命寺行」乗車、
「八商前」降車後、徒歩5分
内 容…当事者からの体験発表、コーヒーブレイク・フリートーク、
小グループ討議&質疑応答
問合せ…滋賀県精神保健福祉協会 事務局
TEL/FAX 077-567-5250

編集後記

◆この夏は、大変暑かったですが、雨が降ると線状降水帯が現れ、局地的に集中豪雨になる傾向がありました。北九州では多くの方が亡くなっています。台風5号は記録的な速走の後、和歌山に上陸し、近畿地方をゆっくり北上。滋賀県にも大雨をもたらし、ついに姉川では切り通し部から氾濫という事態になりました。滋賀県は山から湖まで近いので、上流で集中豪雨があれば一気に流れ下ってあふれだすことは今後もあるかも知れません。思わずハザードマップを見直しました。

◆夏の高校野球では、彦根東高校が4年ぶりに2回目の出場をほたし、一回戦で劇的逆転勝利、念願の甲子園1勝を果たしました。アルプススタンドを赤く染めた応援風景は圧巻的でした。国宝彦根城築城410年祭「直虎から直政へ」の織と並んで、商店街の到る所に、赤鬼魂の織がはためいていました。彦根東高校の校歌を初めて聞かせて頂きました。古関裕而さん作曲というのをTV画面で知りました。名曲ですね。「栄冠は君に輝く」も「六甲おろし」も古関さんの曲なので、より一層親しみを感じました。

◆赤備えといえば、映画「関ヶ原」を見てきました。通院中の歴史好きの小学生が「夏休みの終わりになって封切するなんて」と怒っていましたので、これは見ておかないかと思いついたわけです。井伊直政の一番は僅かでもやや残念でしたが、石田三成の正義と、徳川家康の野望の対立を軸に展開される、邦画には珍しい大スケタルでした。中でも島左近と小早川秀秋は好意的に描かれており、近江の歴史ファンを喜ばせたのではないかと思います。それにしても、大変な数の登場人物の動きを、フォローしていくのは大変な作業ですが、あの小学生には、賢しかな知識を超えた楽しみ方があったのかも知れません。

◆平成29年7月、「自殺総合対策大綱～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～」が閣議決定されています。自殺は、その多くが追い込まれた末の死です。自殺の背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因があることが知られています。このため、自殺対策は、社会における「生きることの阻害要因(自殺のリスク要因)」を減らし、「生きることの促進要因(自殺に対する保護要因)」を増やすことを通じて、社会全体の自殺リスクを低下させる方向で、総合的に推進することが必要とされています。

◆我が国の自殺死亡率は、近年、全体としては低下傾向にあるものの、20歳未満は平成10年以降おおむね横ばいです。若年層の死因に占める自殺の割合は高く、若年層の自殺対策が喫緊の課題となっています。平成28年4月には、自殺対策基本法が改正され、学校におけるSOSの出し方に関する教育の推進が盛り込まれました。大津市では中学2年の男子生徒がいじめを苦に自殺して以降、いじめを見逃した反省を踏まえ、養護教諭の2人体制を強化したり、LINEでいじめの相談ができる仕組みを作ったり、子どものSOSを受け止められる態勢づくりに先進的に取り組んでおられるようです。
(滋賀県精神科診療所協会 上ノ山)

会員数

平成29年8月31日現在

一般会員	個人会員	119人
	団体会員	35団体
賛助会員	個人会員	6人
	団体会員	4団体
サポート会員		7団体